

第二十七号(令和八年四月)

伊藤ひろし県議会報告

匿名・流動型犯罪グループ検挙推進へ

最新AI機能を持つ分析ツール導入へ

この春から、千葉県警では被疑者から押収した携帯電話に保存されているSNSデータ等を、高度に分析するツールが整備されます。早期の実態解明により、事件の中核的人物の検挙、組織の壊滅を目指します。



『問題提起』

千葉県内でも、令和六年八月頃から闇バイトによる強盗事件が増えており、市川市や船橋市、四街道市など、SNSで集められた実行役が住宅に侵入し、住人に暴力を加えるなどの事件が発生しています。

また、犯罪に関わった人の多くが若者で、使い捨てにされています。

【お伝えしたいこと】

SNSやサイバー空間の

犯罪など、社会情勢に

応じた警察活動の強化・

推進は、県政の重要な

任務と認識しております。

